

## 今後の環境教育ワーキンググループの活動について（案）

## 1 今後の取り組みについて

## 学校における環境学習の推進

環境教育実践事例集を釧路管内の学校や関係機関等に配布するとともに、学校での活用に向けた継続的な働きかけやコーディネート可能な範囲で行っていく。

あわせて、新規情報の追加及び更新を行いながらWEB等も活用して情報を発信することで、普及を図る。

また、引き続き、釧路湿原流域での環境教育活動に関する情報共有を進めるとともに、推進方策を検討していく。

## 2 具体的な手法

## (1) 環境教育実践事例集の配布先

釧路管内の学校及び関係機関等に広く配布する。

## ア 釧路管内の学校約 150 校

小学校 77、中学校 48、高校・専門学校・大学等 25。また、小学校から高校については、学年に一冊程度行き渡るよう配布予定。

## イ 北海道教育庁釧路教育局及び釧路管内の市町村教育委員会

## ウ 釧路湿原自然再生協議会構成員等

## エ 環境教育実践事例集掲載団体、釧路管内の関係公共施設

## オ 日本国内のラムサール条約登録湿地関係機関及び団体、自然再生事業実施団体等

## カ 環境省及び文部科学省の関係機関

## (2) 環境教育実践事例集の活用に向けた働きかけ

環境教育実践事例集活用に向けた働きかけを積極的に行い、可能な範囲で導入支援を行う。

## ア WEBサイトを立ち上げ環境教育実践事例を周知

## イ 環境教育実践事例集及びWEBサイトをPRするチラシを作成・活用

## ウ 校長会、教頭会への可能な範囲でのPR努力（釧路湿原流域の5市町村）

## エ 教員が集まる研究会や教員研修等での可能な範囲でのPR努力

オ PRチラシの環境教育実践事例集掲載団体・施設等への設置及び学校・教員に対するPRの協力依頼

## カ 授業等への導入支援・コーディネート

（教員からの問い合わせに応じて、可能な範囲で導入の支援を行う。）

( 3 ) 新規情報の追加及び情報の更新

ア 新学習指導要領に対応した学校における環境教育実践事例の更新

環境教育実践事例集で紹介した学校については、継続して情報提供を依頼するとともに、未掲載事例についても情報収集に努め、WEB サイトにおいて、新学習指導要領に対応した環境教育実践事例の充実を図る。

イ 施設・NPO・企業等の情報の充実及び更新

環境教育実践事例集で紹介した施設・団体等についても ア と同様とする。

また、今後の収集情報については、学校のみならず、地域を対象とする環境教育実践事例も対象とする。

( 4 ) 全国への PR

マスコミ・環境教育関係の雑誌や学会等への情報発信

3 今後のスケジュール

12月中旬 環境教育実践事例集の完成・配布開始

2009年1月 再生普及小委員会 開催予定

・環境教育実践事例集完成の報告 等

4月以降 第5回環境教育ワーキンググループ 開催予定

・環境教育推進方策の検討 等